

横浜港南ロータリークラブ



ロータリー:インスピレーションになろう

2018~2019年度 国際ロータリーのテーマ



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10F 1000ホール「リバージュ」 TEL045(848)1111
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-13 13号ビル41-302号 TEL045(846)5111 045(846)5129
◎会長/宮下 賢 ◎副会長/橋浦 重己 ◎幹事/大井 和子 ◎会報委員長/大橋 三郎

第 2139 横浜港南ロータリークラブ週報 2018. 10. 3. [水] 第 2369 回例会報告

- ◎司会 豊場建伍 SAA 委員
- ◎ロータリーソング 『我らの生業』
- ◎ソングリーダー 天野憲二 合唱委員
- ◎ゲスト・第2590地区副幹事 谷川操 様
(横浜中ロータリークラブ)
- ・米山奨学生 デルバさん
- ・青少年交換学生 キャミアさん
- ◎新会員 (株)Bellホールディングス
代表取締役社長 小笠原大樹様

◎出席報告 横尾博之出席委員

| 会員数 | 出席者数 | 出席率 | 前回修正率 | 前月平均率 |
|--------|--------|-------|-------|-------|
| 35(7)名 | 18(6)名 | 58.0% | 83.3% | 84.4% |

()内は出席免除会員数

9月ホーム出席100%

- 阿曾輝彦会員 市川敏明会員 上杉順一会員
- 海野俊彦会員 大井和子会員 小後摩重正会員
- 櫻井富雄会員 佐々部宣宏会員 根本雄一会員
- 福嶋昭会員 宮下賢会員

- ◎親睦委員会(今週のお祝) 瀧文博親睦委員
- * 会員誕生日祝 小後摩重正会員(1日)
根本雄一会員(22日)

| | |
|--------------|----------|
| ニコニコボックス本日合計 | 31,000円 |
| ニコニコボックス累計 | 343,000円 |

◎米山チャリティボックス

- 坂巻照代米山記念奨学委員
- 小後摩重正会員 坂巻照代会員 佐々部宣宏会員
- 民谷佳子会員 根本雄一会員 宮下賢会員
- 6名

| | |
|-----------------|---------|
| 米山チャリティボックス本日合計 | 6,000円 |
| 米山チャリティボックス累計 | 65,000円 |

◎会長報告

- ①米山奨学生のデルバさんに奨学金をお渡しします。
- ②先日、クールビズは9月末までと申し上げましたが、10月の理事会で当クラブは10月末まで延長することになりました。地区などの集まりはネクタイ上着着用の方が無難だと思います。
- ③セブのナガ地区募金について、創立記念家族例会から始めましたが、現在36,500円集まっています。港南台RCでも募金を行っており、2クラブ合同で10月5日から参加するロータープラストメディカルミッション参加時にセブポートセンターRCにお渡しします。今一度募金をお願いします。
- ④小笠原新会員の入会式を行います。小笠原さんは吉富元会員の会社で社長をされおり、櫻井会員の紹介でご入会頂きます。仕事の都合で例会に出る機会が少ないと思いますが、今日はインシエーションスピーチをして頂きます。
- ⑤谷川副幹事より、地区大会のお知らせがあります。

◎幹事報告

- ①10月1日の理事会報告を致します。親睦一泊旅行の参加者は23名(宿泊13名)です。今日と来週で会費を徴収します。日帰りの方1万円・宿泊の方は2万円です。食事は和食となります。
- ②昨日は青少年交換学生のキャミアさんの誕生日でした。ささやかですがドラ焼をプレゼントします。



◎第2590地区副幹事 谷川操一様より

地区大会は11月9日～10日2日間です。9日はクラブ会長・幹事会を12:30～『パシフィック横浜センター3F』にて行います。講演会・地区指導育成セミナー会・RI会長代理晩餐会等。2日目は12:30～『パシフィック横浜会議センター1Fメインホール』にて、本会議・基調講演・会員懇親会を開催します。地区大会記念行事として、10月15日にチャリティゴルフ大会を『磯子カントリークラブ』で行います。多数のご参加をお願いします。

◎委員会報告

①働き方改革について 坂巻照代会員
神奈川県から要請を受けて、11月1日に川崎で、個人も組織も成長するための『神奈川県働き方改革シンポジウム』が行われます。参加費は無料ですが申し込みは必要です。回覧しますので興味のある方は是非ご参加下さい。

②親睦委員会 海野俊彦委員長
10月の親睦一泊旅行は現地集合現地解散です。馬堀海岸で下車して頂き、シャトルバスは1時間に2本あり、毎時5分と35分です。是非ご参加下さい。

◎『イニシエーションスピーチ』小笠原大樹会員



はじめまして。私は、株式会社ベルホールディングス代表取締役、小笠原大樹と申します。昨年まで港南RCでお世話になっておりました吉富鈴江が弊社ホールディングスグループの会長でございまして、その後を引き継ぎ形でこの度ご縁を頂戴致しました。入会させて頂くにあたり、櫻井様・山田様・宮下会長にはいろいろご指導頂きましたこと、お礼を申し上げたいと思います。拙い挨拶ではございますが、自分の言葉で考えてこの場に臨んでまいりました。何卒ご容赦下さいませ。

私は、昭和45年に兵庫県尼崎市で生まれました。兄弟は兄と姉がおりますが、家庭の事情により物心つく頃から母と2人で、俗に言う長屋というところで中学校までを尼崎で過ごしてまいりました。

尼崎は、横浜に住んでから思ったのですが、多分関東では大阪を東京、神戸を横浜とするなら、ちょうど川崎市に該当すると思われま。阪神工業地帯に位置する尼崎市は光化学スモッグなどが有名で、私も2歳の時から喘息認定患者だったそうです。当時は母子家庭でしたので、決して裕福な家庭ではありませんが、母の早朝から夜遅くまで休むことなく働く背中を見て育ちました。しかし、当時の私は自分の境遇のせいにして母の言うことも聞かず、あまりいい息子ではありませんでした。そんな先行き不安な私を見かねた母は、知り合いのお寺に私を連れて行きました。記憶はありませんが、おそらくまく騙されて連れていかれたはず。そこで私は初めて、自分の師匠となる方と対面することに

なります。威厳に溢れ、つぶれた声で恐怖しかありませんでしたが、師匠は私を怒るわけでもなく、今日の法事の支度を手伝いなさいとおっしゃられ、本堂で言われるがまま嫌々働いていると、参加される檀信徒の方々が私に頭を下げられ、口々に褒めて下さいました。これまでの人生で褒められたことなどない私は、それに気を良くし、また、寺院の持つ風格や僧侶の法衣姿、所作に魅了され、数ヶ月後にはついに得度式という、師匠に弟子入りするという事にまでなってしまいました。私の師匠は厳しく優しい師匠でありました。母の言うことに反抗はしても、師匠の言いつけは実によく守りました。おそらく師匠を含め、同じ法縁のご住職の方々や檀信徒の皆さんから一人前に扱ってもらえることに喜びを感じていたのだと思います。

そんな日々が続いて、一通りのことが出来るようになりましたが、中学生として進路について話さなければいけない時期もやってきました。同級生たちも、就職、進学塾や高校の話で悩みだす時期です。私はこれから僧侶になるのだからと、進学など全く気にせずおりました。しかし、我が子の将来は本人以上に心配なのが親というものです。当然、師匠に相談したのでしょうか。いきなり私に師匠から伝えられたことは、「山梨にある日蓮宗総本山、身延山にある高校に通いながら、総本山の隨身生として3年間修業して来なさい」というものでした。宗門が経営する高校に、日本全国から集まる寺院の子息、徒弟が集まり卒業するまで親元を離れ、最低3年、同短期大学にそのまま進学すると6年間、総本山のあらゆる山務をこなし、僧侶としての修行をするということです。無理がたたり、身体が丈夫ではなく、幾度も入院を繰り返す母は心配でしたが、隨身生になれば、高校への推薦入学の確約、学費、食費、寮費全ての免除、入学時の成績によっては、返済義務のない奨学金までもらえるということ。行かない理由はありませんでした。中学を卒業した日から今日まで、母と暮らしたことはありません。

山梨県南巨摩郡身延町。身延線という単線の富士駅と甲府駅のちょうど中間に位置する身延駅。現在はわかりませんが、当時身延駅以外は無人駅であり、電車の扉も手動ということに驚きながら、まだ15歳の私は、日蓮宗総本山、身延山久遠寺に隨身生として、入山を許されることになりました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、お寺というのは必ず山号というものがあります。宗派によって違いは当然ございますが、〇〇山〇〇寺というのが正式です。そして、自分の寺を自坊と言い、住職のことを別名山主とも言います。そして、ここで働く方々が、住まう住居部分を庫裡と言います。総本山は、山の中腹に広大な境内を有し、大小様々な鐘楼、お堂があります。そして、庫裡にあたる我々隨身生が住む鉄筋の立派な寮が2棟、隣接する高校と短期大学との間に、境内からは視認されぬように建てられています。入山初日は、先輩の方々や総本山にお勤めの近隣の寺院のお上人方も、本当に優しく接して頂き、入山式を行い、その場で初めて総本山の住職であらせられます

法主猊下にお会いすることができました。しかし、常識が通用する時間もここまででした。

その初日の夜に、ある広いお堂の中に集合させられ、我々新生が寸分違わぬ間隔に正座させられ、現隨身生との対面式なるものが執り行われました。ここまで、10名ほどの先輩方としかお会いしておらず、ドキドキしながら待っていると、恐ろしい風体の先輩方が続々と入って来られました。顔を上げてそちらを見ていた新生の1人が「顔上げるな」と注意され、私たちは恐怖で固まっておりました。そして、最上級生の寮長の方の挨拶が始まりました。恐怖で記憶が定かではありませんが、今この時より下界でのことは切り離し、精進せよというようなことを話されたと思います。そして、新生一人ずつ、定型文に沿って自己紹介をさせられるのですが、大声で話しているにもかかわらず、わざと何度も声が小さいとやり直しさせられたりと、震えている者や泣いている者続出の地獄絵図だった記憶がなんとなく残っています。

翌日より、新生の3カ月間の研修期間が始まりました。記憶がかなり曖昧ではありますが、まず午前2時に起床。5分以内に洗面や布団などを整え、作務衣に着替え、廊下に集合、先輩による点呼点検が始まります。そこで衣類の乱れ、自室の整理整頓などの点検をしていただくのです。その後、寮内の清掃を開始しますが、一つ一つの行為に特有の作法があり、建物自体も広く、相当な時間がかかります。

掃除を終えると、朝勤の法衣に着替え、先輩方を起こしに各部屋を回ります。朝の仕事のうち、最も嫌な時間です。気持ちよく御起床頂き、集合場所に整列して頂くまでが我々新生の責任であり、その任務を365日達成させることは、この世の何より困難であると感じました。そして5時、法主猊下とともに大太鼓のリズムに乗せて数十人の式衆による大行列で、朝のお勤めが始まるのです。荘厳な空気の中、早朝にもかかわらず日本全国から泊まりがけでご参拝になられた檀信徒の方々。迫力のある大音声に大勢の式衆による読経・・・御大会と言われる特別な法要では、更に荘厳で壮麗な催しとなり、仏教に興味の無い方でも一見の価値があるのではと思います。そして、ようやく食堂で全員一緒に朝食の儀を行った後、一日の中で唯一気が抜ける登校という流れになります。世間では、不登校や素行に問題のある生徒、いじめ問題や教師に反抗などの高校生が騒がれていますが、我校は無縁でした。教師のほとんどは総本山OBの上人であり、必ず先輩の先輩なのです。先生に口答えなどできるはずもありませんし、サボったりすれば身の危険につながります。私は心の底から24時間学校にいたいと切に願っておりました。まだ午前中までしか触れておりませんが、このペースですと修行時代の話だけで終わってしまいますので、時間の関係上割愛させていただきます。

身延山は、枝垂桜が有名であり、多くの観光客で賑わいます。真冬には雪も積もり、かなり厳しい寒さですが、我々新生は足袋を許されておらず、足の肉は裂

け、こまめにケアをしておかなければ、自分の汚れで掃除も終わらないという始末です。そういうわけで、3ヶ月の研修期間が終わるころには10人ほどの下山者を出し、2年生になる頃には半分以下の同級生しか残っていませんでした。以降私たちは様々な作法、所作を教えて頂き、お経の読み方から人との接し方、電話対応やお茶の出し方まで、本当に様々なことを学ばせて頂きました。しかし同時に、この閉塞された修行空間の中で、およそ常識とはかけ離れた理不尽な道理に、何人もの同期が下山していきました。私は逆に、逃げるところがなかった故に耐えられたと思います。今では還俗した私ですが、この高校3年間に唯一感謝していることは、これより最悪はないと考えるだけで、プラス思考になれることです。この3年間で今の私を形成しているといっても過言ではありません。そして、高校卒業を迎える時期になると、短大に進学し、更に3年隨身するものと、東京の立正大学に入学し、近隣の寺院で山務をするもの、自坊に帰るという選択肢等ありますが、私はまたもや推薦入学、学費免除に奨学金、給料までいただけるという条件もさることながら、頭髪を伸ばしても良い、そして当時日本中の憧れの街、横浜の寺院に呼んで頂けるというお話を頂き、迷うこともなく即決の末、平成元年4月、ついに横浜の地を踏むこととなりました。その時はまさか還俗し、以降30年も住み続けることになろうとは夢にも思いませんでした。順調にいけば、おそらく大学を卒業し、大阪のキタと言われる都会の自坊に戻り、僧侶としての道を歩んでいたであろうと思われませんが、なぜ今この場でお話をさせていただく人生になったのでしょうか。

尼崎という下町の母子家庭の人間が、親元を離れ身延山という結界で3年の間、普通とはあまりにもかけ離れた生活から解放された17歳の少年には、横浜は大都会すぎました。お世話になっている寺院は、横浜日蓮宗でも有数の大きな寺院であり、厳しい諸先輩方もいらっしゃるので、山務は多忙でありました。葬儀の数も多く、大学の授業中にポケットベルで呼び出されていたことを記憶しています。先輩方も僧侶としての仕事は一流で、とても尊敬できる方々ばかりでした。しかし、一流の方は遊びも一流でした。葬儀や当番でない限り、大学から真っすぐに帰ったことはほぼ皆無であったでしょう。

毎日が公私ともに充実していたと思います。そんな私がなぜ還俗するに至ったかと言いますと、知人に頼まれた飲食業の手伝いに携わって、別のやりがいに出会ったからであります。僧侶としての人生に不満があった訳ではありませんが、常に感じていた矛盾も重なり、宗門からの還俗をすることとなりました。そして飲食業界へと進み、25歳の時に法人化し、当時の社長と共に初めて経営というものに携わることとなりました。その後、紆余曲折を繰り返しながら、平成13年に念願の独立を関内ですることとなりました。この業界もバブル崩壊後より現在に至るまで、一世風靡していた関内という街は年々、目に見えてマーケットの縮小が進んでおり

ます。景気の悪さに更に拍車をかけて、企業の接待費の縮小傾向や飲酒運転取り締まりの強化、風営法取り締まり強化など、逆風にあおられ、今では閉店する店舗も少なくありません。それでも歯を食いしばって店舗を維持してまいりました。そんな中で、私の体調に異変が起きました。現在も店舗は維持しておりますが、8年ほど前に今までの無理が出たのか、病気が発覚し、身体の負担を考え、私は徐々に昼間の商売への移行を考えるようになりました。そこで、一念発起し宅建に挑戦してみようと思い、資格取得後、新たに不動産会社『桜樹』という会社を起業いたしました。

その起業するにあたり、様々な助言や協力していただいた恩人とも言える方が吉富会長でした。吉富会長とは桜樹設立以前より知己を得ておりましたが、何分昼間の世界の右も左もわからない私に、経営学をご指導頂き、これを機に現在に至るまで私の公私にわたり師と呼べる方でありました。そして、会長の元で、役員として様々なことを学ばせて頂きながら、今後の展望考えたときに、グループ化という選択肢にたどり着きました。当時は今年設立30周年を迎えるトミ・管理サービスという会社だけでしたが、社内の各営業部門を分社化、同時にベルホールディングスという持ち株会社を設立し、現在のホールディング化、ベルグループとしての一歩踏み出すこととなりました。

グループ全容としまして、持株会社ベルホールディングスを筆頭に、主に東京・神奈川をエリアとし、建物管理、リフォーム業などを主軸とする戸塚区舞岡の株式会社トミー・管理サービス。東京・千葉をエリアとし、同じく建物管理などを行う西船橋の(株)ファミス。東京・神奈川・千葉エリアに各営業所を展開し、電気工事業を営む(株)クレシスなど、系列会社6社を傘下に、ホールディング化して今年3期眼を迎えることとなりました。弊社会長の吉富が先代社長と作り上げたこのグループを、仲間と共に経営していく喜びと共に、重圧を感じながら今に至っております。

次に私の家族構成です。妻と娘が2人、そしてポメラニアンが2匹おりますが、昔飼っていた初代のポメラニアンが亡くなった後「もう犬は飼いたくない」と思っておりましたが、今は知人を通じて殺処分扱いや、様々な理由により保護された保護犬を引き取っております。

趣味は、昔は、車やバイク、マリンスポーツなど様々な楽しみでございましたが、今現在ハマる趣味がなく、ゴルフやマージャン等々に誘って頂ければお供させていただきます。

そんな私ではありますが、この度、歴史ある港南RCに迎え入れて頂けることに、感謝の念と同時に皆様にご迷惑でないか、本当に不安で一杯というのが正直な気持ちです。ですが、諸先輩方から教えて頂けるであろう今までの自分の見てきた世界以外の新たな世界や常識、地域の情報など、楽しみな部分も多く期待が膨らんでおります。地元の出身でもなく、新参の私を受け入れて頂いたことを本当に嬉しく思います。出来る時に出来ることを精一杯やらせていただく所存であります。

ふつつかではありますがどうか可愛がって頂けるよう努力致しますので、本日を機に末永くよろしくお申し上げます。つたない挨拶ではありましたがご清聴ありがとうございました。

◎ニコニコボックス

瀧文博親睦委員

横浜中ロータリークラブ 谷川操一様

本年度の地区大会参加のお願いに伺いました。来たる11月9日～10日の両日に皆様の参加をお待ちしております。

年に一度の地区の祭典を楽しんで頂きますようお願い申し上げます。

宮下賢会長

セブのナガ地区の災害募金をお願いします。

地区副幹事谷川様ようこそいらっしゃいました。デルバさんキャミアさんようこそいらっしゃいました。

小笠原様のイニシエーションスピーチを楽しみにしております。

大井和子幹事

小笠原様よろしくお祈りします。

デルバさんようこそ。

地区副幹事・横浜中 RC 谷川様ようこそいらっしゃいました。

天野憲二会員

先日、八木先生に女房の誕生日に大きなケーキを頂きました。有難うございます。泣いて喜んでいました。私は11月2日です。小さなケーキで結構ですよろしく！

会員誕生日祝いを頂きまして有難うございました。配偶者誕生日祝いを頂きまして有難うございました。

小後摩重正会員

先週の夜間例会では雨天の中橋浦会員には大変お世話になりました。有難うございました。

本日は誕生日祝いを頂きました有難うございます。95回目ですが皆さまのお力を借りてもう少し頑張りたいと思います。

根本雄一会員

10月22日で51歳です。進化する51歳で行くぞ。

地区副幹事谷川様ようこそいらっしゃいました。

佐々部宣宏会員

10月は米山月間です。皆様宜しくお願いします。

高森政雄会員 市川敏明会員 櫻井富雄会員

民谷佳子会員 平山滋也会員 細井順子会員

山田哲也会員 豊場建伍会員 海野俊彦会員

福嶋昭会員

第2590地区副幹事谷川操一様ようこそいらっしゃいました。よろしくお祈りします。

小笠原様ご入会おめでとうございませう。早くクラブに馴染んで下さい。イニシエーションスピーチを楽しみにしております。

坂巻照代会員

デルバさん就職内定おめでとうございませう。

地区副幹事谷川様ようこそいらっしゃいました。

小笠原様のレーションスピーチを楽しみにしております。

◎次週の予定

10月10日(水)・米山月間卓話

横浜港南RC米山学友 宋宇さん

◎会報

八木禧昭会報委員